

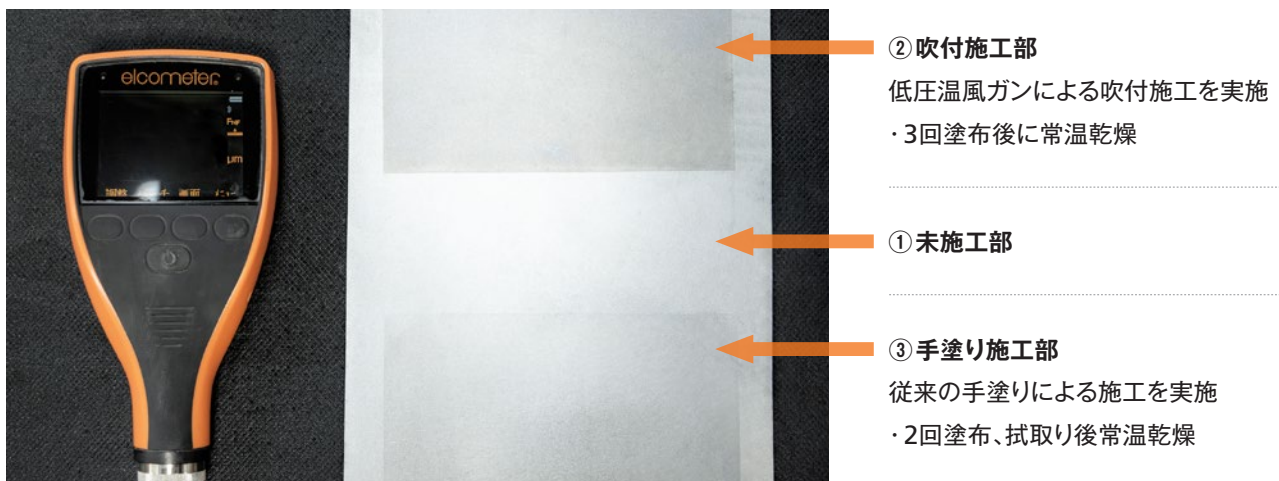


PURE CERAMIC COAT

ECHELON®
Ver. 3.0

低圧温風ガン吹付施工 コーティング膜厚測定結果

ECHELON Ver.3.0のコーティング膜厚を確認するため、未塗装の鉄板に施工し、膜厚計で被膜の厚さを測定しました。測定方法について、以下に記載します。



■ 測定装置

Elcometer 456磁性・非磁性金属両用(セパレート型) A456CFNFSS

Elcometer 456用 ストレートプローブ T456CFNF1S

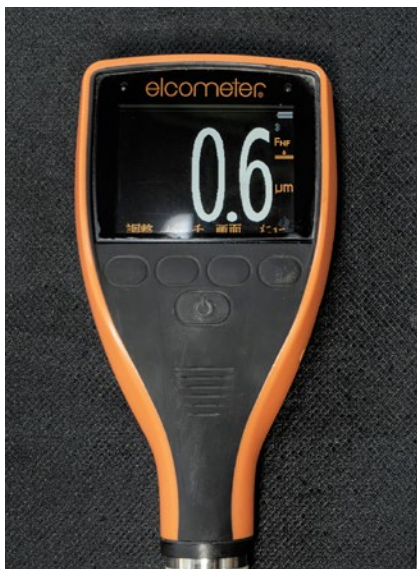
■ 測定方法

未施工部、吹付施工部、手塗り施工部それぞれを各10回ずつ測定を行い、中央値に近い数値3回分を採用とし、平均値を算出いたしました。

① 未塗装部 平均值 0.00μ



② 吹付施工部 平均致0.63 μ



③ 手塗り施工部 平均致0.53 μ



測定結果

	平均値	測定値1	測定値2	測定値3	最大値	最小値
①未施工部	0.00μ	0.0 μ	0.0 μ	0.0 μ	0.1 μ	-0.1 μ
②吹付施工部	0.63μ	0.6 μ	0.7 μ	0.6 μ	1.0 μ	0.3 μ
③手塗り施工部	0.53μ	0.6 μ	0.5 μ	0.5 μ	0.8 μ	0.2 μ

上記の通りの測定結果となりました。

この結果から、今回新しいシステムとしてご提案している低圧温風ガン吹付施工においては、従来の手塗り施工と比較してわずかに膜厚が高い施工結果を示すことが確認できました。

また、施工液を大量に使用することなく優れた膜厚を形成できるECHELON Ver.3.0 低圧温風ガン吹付施工方法の優位性の一つが、これにより実証されました。